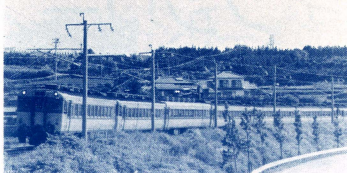


- 昭和53年 8月20日印刷
●昭和53年10月 1日発行
●編集・発行者 竹島紀元
●編集スタッフ

塚本雅啓／松尾定行／宮原正和
日比 彰／沖 勝則／三浦 衛



- アートディレクト 唯野信廣
●発行所
(株)鉄道ジャーナル社◎
〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6
日産ビル 電話03(264)1891・1892
振替口座 東京 9-82820
●印刷所 凸版印刷株式会社

本号の新刊コーナーでも紹介されている『時刻表2万キロ』の著者・宮脇俊三さんが読売新聞の「人物登場」欄で「鉄道を通して中年男の「気分」を書いたつもりが、そこを見落とされて汽車好きの「珍獣」扱いされるのは「ちょっと心外…」と苦笑まじりに語っている。さりげない鉄道批判もあり、レールファンにも楽しめる内容なのだが、とかく「鉄道」とか「趣味」という狭い視野にこだわる傾向が、ファンにも世間にも強いようだ。鉄道をもっと生活の一部として見る視点が、ファンにも専門家にもあっていいのではないか。それが鉄道や鉄道趣味に真の「市民権」をあたえる最良の方法であろう。

今回とりあげた電化路線を走るディーゼル列車の問題にも、それがいえと思う。国鉄には当事者の立場と事情があり、それなりの理由でディーゼル列車が走っていることは理解できるが、真に利用者の立場が考慮されているかといえば疑問である。利用者のほうは日本人の欠点で批判性にとぼしく、すべてがお上まかせ、専門家まかせで、マトを射た改善運動がどうも盛りあがらない。鉄道についての豊富な知識をもち、利用者の一人でもあるレールファンが、もっと積極的に鉄道を育ててゆく努力をしてゆくべきではないだろうか。本号の企画は、この命題に対する具体的な一つの実践である。

シリーズ・日本の鉄道⑩

西九州

青木栄一 10
編集部

●特集 「電化」とディーゼル列車

電化を駆ける むらさきの煙 27

ドキュメント★列車追跡②④

架線下DC行進曲 急行<出島3号/弓張2号> 宮原正和/沖 勝則/竹島紀元 34

全国「架線下DC」、健在路線 編集部 51

- 「架線下DC」の功罪
1. 国鉄の幹線電化と動力車 磯崎 哲 56
 2. 「架線下」のDCを考えると 須田 寛 61
 3. 総点検——電化を駆けるディーゼル列車 編集部 66

ドキュメント★列車追跡②⑤

炎天下に峠を越えて 急行<おが1号> 種村直樹/日比 彰 72

走るスーパー・デザイン 7

ニュース・ファイル(国鉄・私鉄・海外鉄道の動き) 81

車両基地 84

★レールウェイ・トピックス

思いがけない!81系新製車が登場 85

営団半蔵門線が一部開業 飯島智昭 86

都営地下鉄10号線の車両搬入始まる 87

最後のD52 御殿場へ 伊藤東作 88

ついに帰ってきた「幻」のプレート、 塚本和也 89

14系15形特急形寝台客車 星谷俊二 90

近鉄の新しいピスタカーの青写真 野村 董 94

新・RJメカニズム10 ヤード総合自動化システム 96

「急行列車」再発見④ 山陽路の座席夜行「雲仙」 98

ブルー・トレイン 122

◆ワイドレンズ/記念キップ・コーナー(122)◆RJクイズ/鉄道友の会だより(123)◆鉄道記事ざっくばらん/魚眼(124)◆Q&A/ズームレンズ(125)◆書評/新刊紹介(126)◆外国趣味誌紹介/伝言板(127)

新しい軽電車時代へのいざない 野村 董 101

今月の撮影地④ 消えゆく古都の市電 栗田正一 108

EF65₁₀₀₀出発進行! 112

★シリーズ・現場④

直す——機械軌道区 永崎祐之 116

ポスターと書物のドラマ⑩ 佐々木桔梗 118

レールウェイ・レビュー 121

かいがいてつどうイントロダクション 本島三良 128

新・ヨーロッパの鉄道——8 山之内秀一郎 129

車両とともに30年⑦ 田邊幸夫 137

鉄道案内記 よもやま話② 沢 和哉 142

タブレット 148

次号予告/前方ちゅーい! /乗務員室 154

表紙★ある電化路線の構図 膨大な経費をかけて電化してもディーゼル列車が大手を振って闊歩しているのが、最近の電化地方幹線の素顔だ。ここ長崎本線もその典型的な路線。新鋭ED76形のひくくくらと「老雄」気動車急行<出島>——新旧列車が仲良く同居する光景はまさに「現代の奇蹟」といふべきか… (カメラ・沖 勝則)

特大号価格680円 予60円